

## 《フィットネス資格》

### ■ジュニアスポーツ指導員養成講習会

養成目的 発育発達期の身体的・心理的特徴についての専門的な知識と技能を持ち、2歳から15歳の子どもたちを対象に、総合的なからだづくりと、基礎的動作の習得を目的としたプログラムを提供できる指導者の養成。

役割 地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う。

受講条件 受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者。

### ■スポーツプログラマー養成講習会

養成目的 フィットネスの維持や向上についての専門的な知識と技能を持ち、個人々に適した身体づくりの演技指導と運動プログラムの提供ができる指導者の養成。

役割 主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。

受講条件 受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者

## 《メディカル・コンディショニング資格》

### ■スポーツドクター養成講習会

養成目的 医師として、スポーツ医・科学に関する知識を有し、スポーツマンの健康管理と競技能力の向上の援助、また、傷害予防、診断、治療などにあたることのできる技能をもつドクターの養成。

役割 スポーツマンの健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断、治療、予防研究等にあたる。競技会等における医事運営ならびにチームドクターとしてのサポートにあたる。スポーツ医学の研究、教育、普及活動を通して、スポーツ活動を医学的な立場からサポートする。

### ■アスレティックトレーナー養成講習会

養成目的 機能解剖や運動学に関する専門的な知識を有し、スポーツ活動現場において、競技者の傷害予防、救急処置、コンディショニングにあたるとともに、スポーツ傷害を受けた競技者の競技復帰までのリハビリテーションにあたることのできる技能を持つ指導者の養成。

役割 スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニング等にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者で、本

受講カリキュラム 共通科目Ⅰ：35時間（通信講座）専門科目：40時間

実施方法 当該年度6月～翌年2月

受講にかかる経費 受講料：共通科目21,000円 専門科目21,000円

申込・問合せ 都道府県体育協会

受講カリキュラム 共通科目Ⅰ＋Ⅱ：70時間（集合講習28h、自宅学習42h）専門科目：63時間

実施方法 当該年度6月～翌年1月

受講にかかる経費 受講料：共通科目21,000（共通Ⅰ免除者は、16,800円）円 専門科目52,500円

申込・問合せ 日本体育協会／日本体育施設協会

受講条件 日本国の医師免許を有し、かつ原則として本会あるいは本会加盟団体が推薦し、本会が認めた者。

受講カリキュラム 基礎科目：21単位（24.5h）。応用科目：20単位（30h）。

実施方法 当該年度10月～翌年2月

受講にかかる経費 受講料。基礎科目からの受講：49,000円。応用科目からの受講：28,000円

申込・問合せ 本会加盟団体（都道府県体育協会、中央競技団体）または本会が特に認める国内統轄競技団体

会加盟団体、または本会が特に認める国内統轄競技団体が推薦し、本会が認めた者。

受講カリキュラム 共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ：152.5時間（集合講習40h、自宅学習112.5h）専門科目：600時間

実施方法 当該年度6月～翌々年3月

受講にかかる経費 受講料：共通科目18,900円 専門科目63,000円

申込・問合せ 本会加盟団体（都道府県体育協会、中央競技団体）または本会が特に認める国内統轄競技団体

## 《マネジメント指導者資格》

### ■アシスタントマネージャー養成講習会

養成目的 総合型の地域スポーツクラブなどに必要なマネジメントの基礎的知識を有する人材を養成する。

役割 総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネージャーを補佐し、クラブマネジメントのための諸活動をサポートする。

受講条件 受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者。

受講カリキュラム 共通科目Ⅰ：35時間 専門科目：35時間  
実施方法 実際の実施計画については各実施団体が、日本体育協会の承認を得て実施する。

### ■クラブマネージャー養成講習会

養成目的 総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が快適なスポーツライフ（クラブライフ）を送ることができるよう、経営資源を適切に確保し、円滑に活用するために必要なマネジメント能力を有する人材を養成する。

役割 総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。総合型地域スポーツクラブが円滑に行われるために必要なスタッフがそれぞれの役割に専念できるような環境を整備する。

受講条件 受講年度の4月1日現在で満20歳以上で、所属クラブからの推薦を受けることができ、下記の①～③のいずれかを満たす者。ただし、申込みにあたっては加盟団体を通して申し込むこととする。

①総合型の地域スポーツクラブなどでクラブマネージャーとして活動している者。

②総合型の地域スポーツクラブなどでクラブマネージャーとしての活動が予定されている者。

③本会が特別に認める者。

文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成、電子メールなど一般的なパソコンスキルを有すること。オンライン講習に備え、自宅もしくは職場等に高速通信環境が整っていること。

受講カリキュラム 共通科目Ⅰ：35時間 専門科目：167.5時間（集合講習67h、通信講習84.5h、実習16h）

受講にかかる経費 受講料：共通科目21,000円 専門科目84,000円 受験料：10,500円

申込・問合せ 日本体育協会

## 社団法人 日本山岳協会

### ■公認山岳指導員（アルパインクライミング）

養成目的 地域山岳会において、主に中高年登山者及び青少年に安全な登山が指導出来る指導者を養成する。

役割 区市町村の山岳団体を主な活動拠点とし、雪山や、岩登り目的を除くアウトドアライフの普及に努める。団体の監督が出来ること。

受講条件 受講年度の4月1日現在満25歳以上で都道府県山岳連盟（協会）に所属し、同連盟（協会）が認める者。

カリキュラム 共通科目35h（共通Ⅰ）専門科目40h

受講料 共通科目 21,000円 専門科目 14,700円

登録料(4年間) 12,000円＋α（各都道府県により¥1,000から¥3,000程度）(初回登録時のみプラス3,000円)

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本山岳協会が定める研修会又講習会に参加すること。特に講習会は講師として参加すること。

担当委員会 社団法人山岳協会 指導委員会

| 区分                           | カリキュラム内容               | 時間数                          |     |     |
|------------------------------|------------------------|------------------------------|-----|-----|
|                              |                        | 集合                           | その他 | 計   |
| 基礎理論<br>(縦走を中心に)             | 登山とスポーツクライミング          | 1h                           | 0h  | 1h  |
|                              | 登山医学（健康管理、救急法）、気象、地形   | 1h                           | 1h  | 2h  |
|                              | 登山計画、生活技術              | 0h                           | 2h  | 2h  |
|                              | 悪場の対応（縦走中の岩場の通過など）     | 1h                           | 0h  | 1h  |
|                              | 避難対策（危険の回避、事故発生時の対応など） | 1h                           | 0h  | 1h  |
|                              | 自然保護（登山者としての自然保護）      | 0h                           | 1h  | 1h  |
|                              | 指導者制度、指導者の役割           | 1h                           | 0h  | 1h  |
|                              | 法律（リーダーの法的責任）          | 1h                           | 0h  | 1h  |
|                              | 計                      | 6h                           | 4h  | 10h |
|                              | 実技・指導実習<br>(縦走を中心に)    | 無雪期の歩行技術（出発準備、歩き方の基本、夏の山溪歩行） | 3h  | 3h  |
| 積雪期の歩行技術（歩き方の基本）             |                        | 2h                           | 0h  | 2h  |
| 無雪期の生活技術（幕営、炊事など）            |                        | 8h                           | 0h  | 8h  |
| 積雪期の生活技術（幕営、炊事など）            |                        | 2h                           | 0h  | 2h  |
| 縦走路の岩場の通過などを中心とした岩登り技術       |                        | 5h                           | 2h  | 7h  |
| 氷雪技術（ルート選定など）                |                        | 1h                           | 0h  | 1h  |
| 無雪期の避難対策（事故発生時の対策、通信・連絡方法など） |                        | 3h                           | 1h  | 4h  |
| 計                            |                        | 24h                          | 6h  | 30h |
| 計                            |                        | 30h                          | 10h | 40h |

### ■公認山岳上級指導員（アルパインクライミング）

養成目的 都道府県レベルにおいて、登山者全体に初雪期、無雪期を問わず安全な登山が指導出来る指導者を養成する。

役割 都道府県レベルでの登山全体の普及に努める本州3,000m級山岳地帯において積雪期登山のリーダー候補者に指導が出来ること。団体の監督が出来ること。

受講条件 受講年度の4月1日現在満25歳以上で都道府県山岳連盟（協会）が認めるもので下記条件の全てを満たす者。

(1)本州なら3000m級山岳地帯において積雪期登山のリーダー候補者に指導ができると判断された者。

(2)4級以上の岩壁登攀のリーダー候補者に指導ができると判断された者。

カリキュラム 共通科目70h（共通Ⅰ＋Ⅱ）専門科目40h

受講料 共通科目 14,700円(共通Ⅰ免除者は8,400円) 専門科目 10,500円

登録料(4年間) 12,000円＋α（各都道府県により¥1,000から¥3,000程度）(初回登録時のみプラス3,000円)

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本山岳協会が定める研修会又講習会に参加すること。特に講習会は講師として参加すること。

担当委員会 社団法人山岳協会 指導委員会

| 区分                         | カリキュラム内容               | 時間数                       |     |     |
|----------------------------|------------------------|---------------------------|-----|-----|
|                            |                        | 集合                        | その他 | 計   |
| 基礎理論<br>(登攀・氷雪を<br>中心に)    | 登山とスポーツクライミング          | 1h                        | 0h  | 1h  |
|                            | 登山医学（健康管理、救急法）、気象、地形   | 1h                        | 1h  | 2h  |
|                            | 登山計画、生活技術              | 0h                        | 2h  | 2h  |
|                            | 沢登り                    | 0h                        | 1h  | 1h  |
|                            | 登攀技術（自然の岩場、人工壁）        | 2h                        | 0h  | 2h  |
|                            | 積雪期の登山（歩行、山岳スキーを中心に）   | 1h                        | 0h  | 1h  |
|                            | 避難対策（危険の回避、事故発生時の対応など） | 1h                        | 0h  | 1h  |
|                            | 指導者制度、指導者の役割           | 1h                        | 0h  | 1h  |
|                            | 計                      | 7h                        | 4h  | 11h |
|                            | 実技・指導実習<br>(登攀・氷雪)     | 無雪期の歩行技術（歩行の基本、夏の雪渓歩行を含む） | 0h  | 2h  |
| 積雪期の歩行技術（歩き方、ラッセル含む）       |                        | 2h                        | 2h  | 4h  |
| 無雪期の生活技術（不時露営含む）           |                        | 2h                        | 0h  | 2h  |
| 積雪期の生活技術（簡易露営含む）           |                        | 2h                        | 2h  | 4h  |
| 登攀技術1（自然岩場にて登攀・確保全般及び用具など） |                        | 2h                        | 3h  | 5h  |
| 登攀技術2（人工壁にて登攀・確保全般及び用具など）  |                        | 2h                        | 0h  | 2h  |
| 氷雪技術（登攀・確保全般及び用具など）        |                        | 2h                        | 3h  | 5h  |
| 無雪期の避難対策（連絡、捜索、搬送など）       |                        | 0h                        | 2h  | 2h  |
| 積雪期の避難対策（連絡、捜索、搬送の基本など）    |                        | 1h                        | 2h  | 3h  |
| 計                          |                        | 13h                       | 16h | 29h |
| 計                          | 20h                    | 20h                       | 40h |     |